

PRESS RELEASE



平成 31 年 3 月 8 日

市政記者各位

福岡市美術館

福岡市美術館リニューアルオープン記念展 「これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE: Flower Power」 報道関係者向け内覧会のご案内

福岡市美術館では、平成 31 年 3 月 21 日(木・祝)の開館、リニューアルオープン記念展の開催に先立ちまして、下記のとおり報道関係者様向けの内覧会を開催します。

是非ご取材いただき、市民の皆様への広報にご協力くださいますようよろしくお願ひします。

記

【日時】平成 31 年 3 月 19 日(火) 13 時から

【受付】福岡市美術館 1 階ロビー（南側入口付近）

※右図参照

【スケジュール】

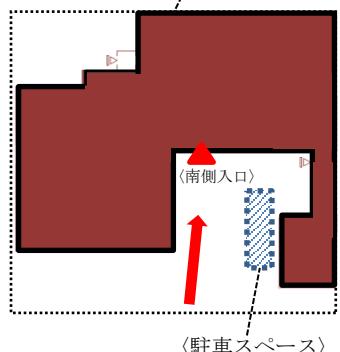
12 時 30 分 受付開始

13 時 00 分 展覧会内覧

各展示会場を巡回しながら各担当学芸員が説明します。

14 時 30 分 自由取材

終了後は、自由に取材できます。



なお、15 時からは一般関係者向けの内覧会が行われますが、

内覧の様子を含め引き続き取材可能です。

※ 取材にあたっては「自社腕章等」の着用をお願いします。

※ 個別取材を希望される方は受付時にお申し出ください。

※ 駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関の利用をお願いします。

なお、お車でお越しの際は美術館南側入口エントランス付近の駐車スペースをご利用ください。美術館専用駐車場（国体道路から入って右側）は使用できませんのでご注意ください。

【問い合わせ先】

(内覧会に関すること) 経済観光文化局美術館運営部 リニューアル事業課 (担当:古賀)

電話: 092-714-6109

(展示に関すること) 経済観光文化局美術館運営部 学芸課(担当:岩永)

電話: 092-714-6053



PRESS RELEASE

記念展ならではの特別展示

『これがわたしたちのコレクション』

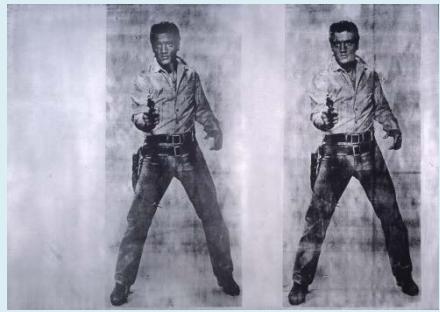
シュルレアリスムからポップ・アートまで、前衛的な試みに彩られた**国内屈指の20世紀美術コレクション**に加え、黒田家伝来の至宝、電力王・松永安左工門による重要文化財に指定されている茶道具の数々など、近現代美術・古美術ともに**人気の高い主要コレクションだけが贅沢に展示される機会は、今だけ！**



サルバドール・ダリ
《ポルト・リガトの聖母》1950年



ジョアン・ミロ
《ゴシック聖堂でオルガン演奏を
聞いている踊り子》1945年



アンディ・ウォーホル《エルヴィス》1963年



ジャン=ミッシェル・バスキア
《無題》1984年



《博多文琳》中国・明時代
15-16世紀

『インカ・ショニバレ CBE: Flower Power』

国際的に活躍するインカ・ショニバレ CBE 氏の**国内初個展**！
リニューアルオープンを記念し、**桜をモチーフとした新作**を世界初公開予定！



《ハイビスカスの下に座る少年》2015年
Yinka Shonibare CBE Studio, London
Pearl Lam Galleries, Hong Kong, Singapore and Shanghai
Photographer: Thomas Liu



《ダブル・ダッヂ》1994年

Copyright Yinka Shonibare CBE.
Courtesy Stephen Friedman Gallery, London;
James Cohan Gallery, New York and Goodman Gallery,
Johannesburg and Cape Town.
Mordant Family Collection, Australia.



《オディールとオデット》2005年
Copyright Yinka Shonibare CBE.
Courtesy Stephen Friedman Gallery, London;
James Cohan Gallery, New York and Goodman Gallery,
Johannesburg and Cape Town.

インカ・ショニバレ CBE
Yinka Shonibare CBE

1962年英国（ロンドン）生まれ。バイアム・ショウ・スクールで美術、ゴールドスミス・カレッジ修士課程で芸術学、哲学を学ぶ。2000年代より数々の国際芸術祭に参加。2013年ロイヤル・アカデミーより「アカデミー正会員」(RA) の称号を授与、2005年大英帝国勲章五等級勲位 (MBE)、2019年には三等爵位 (CBE) の称号を授与される。
2010年以降は、屋外彫刻の制作にも取り組んでいる。



インカ・ショニバレ CBE
Photo: Courtesy of Marcus Leith RA

EVENT INFORMATION

イベント／要申込み

※締切日にご注意ください。

◎インカ・ショニバレ講演会

日本初の個展となる「インカ・ショニバレCBE:Flower Power」にあわせて
初来日するショニバレ氏に、これまでの活動と作品についてお話しいただきます。

※逐次通報付き

日時／3月21日[木・祝] 午後2時～3時30分 会場／ミュージアムホール
応募締切／3月5日

◎リリー・フランキートークショー

イラストやデザインのほか、
文筆、写真、作詞・作曲、俳優など、
多分野で活動し、アートにも造詣の深い
リリー・フランキーさん。
当館副館長、学芸員が聞き手となり、
リリーさんにとってのアートとは?に迫ります。

日時／3月24日[日] 午後2時30分～4時(予定)
会場／ミュージアムホール 応募締切／3月5日



◎ワークショップ「グーグークッションをつくろう！」

新しくなったキッズスペースで、
楽しく遊べるクッションをつくろう！

講師／オーギカナエ(アーティスト)
日時／①3月28日[木] ②3月29日[金]
いずれも午後1時～4時

※内容は両日とも同じです。

会場／キッズスペース「森のたね」他
対象／未就学児童から小学生の子どもとその保護者
[定員 各日 子どもと保護者合わせて30人]
応募締切／3月5日



photo by kinami ushijima

◎万能グローブガラゴスダイナモスによる 演劇ワークショップ

本展出品中の作品を題材に、福岡を拠点とする
人気劇団「万能グローブガラゴスダイナモス」
による演劇ワークショップを実施します。

日時／4月6日[土] 午前12時～午後5時(予定)
※昼食を済ませてお越しください。

会場／アートスタジオ [定員25名]

要観覧券。未就学児不可。

応募締切／3月17日



講師：川口大樹

◎神田紅による 「松永安左エ門の世界」

松永記念室リニューアルを記念した、
人気講談師・神田紅さんによる「松永安左エ門～
電力の鬼と呼ばれた陽気なドン・ファン」
の公演。講談ワークショップ実施のほか、
当館学芸員と「茶人 松永安左エ門 美の世界」
について語ります。

日時／4月14日[日] 午後2時～3時20分
会場／ミュージアムホール 応募締切／3月17日



応募方法

往復はがきまたはメールにて申し込みをお願いします。希望のイベント名(「グーグークッションをつくろう！」は希望日も記入)、参加者全員の氏名(各イベント最大2名まで受付可)、郵便番号、住所、電話番号、「グーグークッションをつくろう！」と「演劇ワークショップ」は参加者全員の年齢を明記のうえ、各イベントの応募締切(必着)までに、下記までお申し込みください。

【往復はがき】〒810-0001福岡市中央区天神1-4-1

西日本新聞イベントサービス内 「(イベント名を記入)係

[Eメール]fam-event@nishinippon-event.co.jp(件名にイベント名をお書きください)

応募多数の場合は抽選します。当選者には参加券をお送りします。※抽選結果は、申込締切後、「返信ハガキ」又は「メール」でお知らせします。※ご応募いただいた個人情報は、本イベントの連絡にのみ使用します。※ドメイン指定受信を設定されている方はあらかじめ応募先のアドレスからのメールを受信できるよう、設定の変更をお願いいたします。

お問合せ／西日本新聞イベントサービス内「福岡市美術館オープニングイベント」係

TEL: 092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

ACCESS

交通案内／(地下鉄) 空港線 大濠公園駅下車、徒歩10分

七隈線 六本松駅下車、徒歩10分

(西鉄バス) (系統番号13・140)福岡市美術館東口下車、徒歩5分

(系統番号6・7・12・13・14・200～206・208)赤坂三丁目下車、徒歩5分

(系統番号6-1)福岡城・NHK放送センター入口下車、徒歩3分

(車) 福岡都市高速「西公園ランプ」から5分

福岡市美術館専用駐車場(有料・1時間200円)

利用時間 午前9時～午後9時(開館日のみ)

※週末、祝日等は大変込み合います。公共交通機関をご利用ください。



これが福岡市のコレクション。 わたしたちの誇り。

大好きすぎる
愛しの妻を、
聖母のモデルに。

サルバドール・ダリ
《ボルト・リガトの聖母》1950年
Salvador Dalí "The Madonna of Port Lligat" 1950



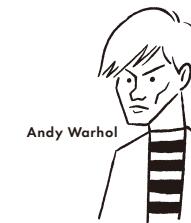
© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2019 G1699

バスキアの
絵がある美術館は、
国内数カ所のみ！

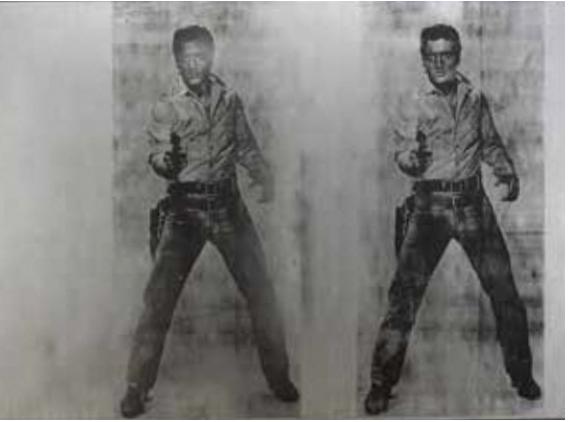
ジャン=ミシェル・バスキア
《無題》1984年
Jean-Michel Basquiat "Untitled" 1984



©The Estate of Jean-Michel Basquiat / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 G1699



兄弟作品は、
オークションで
約100億円！



©2019 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc.
Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G1699

アンディ・ウォーホル
《エルヴィス》1963年
Andy Warhol "Elvis" 1963

福岡市美術館リニューアルオープン記念展

これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE:Flower Power

Fukuoka Art Museum Grand Reopening Exhibition This is our collection+Yinka Shonibare CBE:Flower Power

2019.3.21(木・祝) - 5.26(日)



これがわたしたちのコレクション + インカ・ショニバレCBE:Flower Power

福岡市美術館が誇るスター作品が大集結！開館以来最大規模のコレクション展示。



妻を亡くした
悲しみからの再起を
誓った一作。
マルク・シャガール
『空飛ぶアトラージュ』
1945年
Marc Chagall, "The Flying Sleigh", 1945



自由に見て、
色や構図が緻密に
計算された名作。

ジョアン・ミロ
『ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子』
1945年
Joan Miro, "Dancer Listening to Organ in a Gothic Cathedral", 1945



「日本の半分くれるなら
譲っていいよ」と言われ、
秀吉が諦めた茶入。

《唐物茶入銘「博多文琳」》
中国・明時代



Joan Miro

福岡市美術館のリニューアルオープン記念展「これがわたしたちのコレクション+インカ・ショニバレCBE:Flower Power」は、コレクション展と企画展という美術館の展覧会活動の両輪をひとつの展覧会としています。リニューアルにより生まれ変わった展示室すべてを用いて、「より開かれた美術館」を目指して、展覧会を開催します。

コレクション展示室およびギャラリーA~Fでは、「これがわたしたちのコレクション」を開催。当館が誇る日本有数のコレクションをより多くの方々に知りたいために、所蔵品の展示をリニューアルオープン記念展の主軸に据えました。当館の約16,000点のコレクションの中から、ダリ、ミロ、ウォーホルなどの代表作や、黒田家伝来の宝物、重要文化財の仏像や茶道具などを精選。代表的な作品約300点を一堂に紹介する、開館以来、最大規模のコレクション展示となります。

特別展示室では、英国を代表するアーティストである、インカ・ショニバレの日本初個展「インカ・ショニバレCBE:Flower Power」を開催します。「Flower Power」と題して、代表作とともに、花をモチーフにした作品のほか、桜をテーマとする新作を発表します。華やかでドラマティックな作品群は、その美しさの先にある、驚きと刺激に満ちた体験を与えてくれるでしょう。



インカ・ショニバレCBE
『ハイビスカスの下に座る少年』
2015年
Yinka Shonibare CBE Studio, London
Pearl Lam Galleries, Hong Kong, Singapore and Shanghai
Photo Thomas Liu



インカ・ショニバレCBE
『オディールとオドット』
2005年
Yinka Shonibare CBE, Odile and Odette, 2005

Copyright Yinka Shonibare CBE,
Courtesy Stephen Friedman Gallery, London;
James Cohan Gallery, New York and Goodman Gallery,
Johannesburg and Cape Town.



インカ・ショニバレCBE
Photo: Courtesy of Marcus Leith RA

EXHIBITION INFORMATION

休館日／毎週月曜日(ただし、4月29日と5月6日は開館し5月7日(火)休館) 開館時間／午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで
観覧料／一般1,500円(1,300円) シルバー1,000円(800円) 高大生1,000円(800円)

特別観覧料 一律200円(「これがわたしたちのコレクション」のみ観覧可、当日券のみ)

※中学生以下無料。シルバーは満65歳以上の方、満65歳以上の方はチケット購入時に年齢がわかるものを提示のこと。

※()内は前売りおよび20名以上の団体の割引料金。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受給者証の提示者は観覧無料。

チケットは、ローソンチケット(Lコード:83169)、チケットぴあ(Pコード:769-475)、セブン-イレブン、イープラス・ファミリーマートほか主要プレイヤーにて2月21日(木)から発売開始。※会期中の電子チケットは当日料金での販売となります。

※電子チケットは購入の際に各プレイヤーによって各種手数料がかかる場合があります。ご了承ください。

主催／福岡市美術館、西日本新聞社、毎日新聞社、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送 共催／NHK福岡放送局
助成／公益財団法人人野村財団、公益財団法人福岡文化財団、グレイブリテン・サカワ財団、大和日英基金 協力／ブリティッシュ・カウンシル、西澤株式会社
後援／福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6 福岡市美術館 電話 092-714-6051 Fax 092-714-6071 www.fukuoka-art-museum.jp

本展ご観覧の方には、リニューアルオープンならではの特典付！

リニューアルオープン記念展終了後、
コレクション展示を1回無料ご招待

チケット又は半券で、
カフェ・レストランでの特典サービス

抽選で福岡市美術館
オリジナルグッズのプレゼント



福岡市美術館が、より快適に、気軽に楽しめる空間へとリニューアル！

RENEWAL 01

大濠公園側から
直接入れる入口を1階に新設！

日本近代建築界の巨匠・前川國男の設計による
建築意匠は継承しつつ、大濠公園と1階を結ぶ
広々としたアプローチ空間が誕生します。



RENEWAL 02

新設する公園側入口に
カフェが誕生！

公園側のアプローチ空間に面したカフェでは、
大濠公園を眺めながら、スイーツやコーヒー、
サンドwichなどをお楽しみいただけます。



RENEWAL 03

ミュージアムショップもリニューアル。
気軽に立ち寄れる1階ロビーに！

立ち寄る度にほしくなるオリジナルグッズが
ずらり。所蔵品にちなんだステーショナリーから
伝統工芸品まで多彩に取り揃えます。



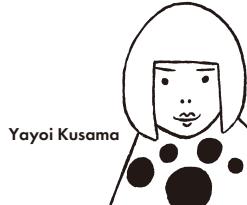
RENEWAL 04

キッズスペースを改装し
美術情報コーナーを新設！

来館者が安心・快適に過ごせるよう授乳室を完備した
キッズスペースにリニューアル！アートをより深く
知るための美術情報コーナーを新たに設置しました。

福岡市美術館
おすすめの
インスタ映え
スポット。

草間彌生《南瓜》1994年



仙庄和尚の
かわいい犬。
「きやふんきやふん」と
なぜなくの？

仙庄義梵
《犬図》
江戸時代

